

い

ま

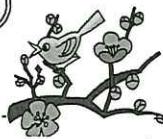
日本の

学童ほいく がおもしろい

3月号

3月号にも石川県の方が
たくさん掲載されています。
続きを読むでね！

P63



不安から安心に
「保護者と指導員の伝えあい
保育を」
事、「伝えあうことで、子どもたち
が安心できる場を……」
かに記された「親子の不安を安
心に変えたのは」の部分を読ん
で、息子（小学二年生）の学童
保育初日の出来事を思い出しました。

不安から安心に

太田真琴
石川県金沢市
保護者読者のひろば
ちよこっとが好き

P67

中井理恵
石川県金沢市
保護者

二〇二三年一〇月号の特集
「保護者と指導員の伝えあい
保育を」
子どもが安心できる学童
保育を」と、小沼紀子さんの記
事、「伝えあうことで、子どもた
ちが安心できる場を……」のな
かに記された「親子の不安を安
心に変えたのは」の部分を読ん
で、息子（小学二年生）の学童
保育初日の出来事を思い出しま
した。

毎月、「日本の学童ほいく」
誌が学童保育の連絡袋に入っ
ているのを見つけると、「貸し
て！」と持っていく小学一年生
の娘。お母当ては、「こどもラン
ド」のクイズや、「ちよこっと掲
載されている迷路など。

クイズ本を買ってあげてもな
かなか読みきらないのに、本誌
や新聞にちょこっと載っている
クイズやクロスワードパズルは
「やりたい！」と、やる気満々

『日本の学童ほいく』

普及・拡大ニュース No.300

(2024.3.8)

発行：石川県学童保育連絡協議会
〒921-8062金沢市新保本4-66-4
TEL076-259-0620、FAX：272-5220

この『日本の学童ほいく』普及拡大ニュースは石川県学童保育連絡協議会（略称：県連協）が独自に発行しているニュースです。

より多くの方に全国連協の機関誌『日本の学童ほいく』をもっと
読んでもらいたい、広げてもらいたいとの願いで作っています。

この度の「能登半島地震」のご報告

P68

二〇二四年一月一日、「令和6年
能登半島地震」が発生し、多大な被
害が生じました。地震で亡くなられ
た方々に冥福をお祈りするととも
に、被災された皆様に心からお見舞
い申し上げます。

「令和6年能登半島地震」は、私
たちもこれまで経験したことのない
ような大きな地震でした。県内では、
この3年の間に、二〇二三年五月の
最大震度六を含め、能登を震源とし
た地震が多発していました。

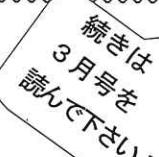
石川県内の被災した地域の
状況について

大災害後の子どもたちの支援のために
保護者と指導員に望むこと

大災害後の被災地の復興にかかる
長い期間がかかることが想定されま
す。その間で子どもたちの心を支援するた
めに大人からすべきことについて、考
えさせましょう。

石川みさ子

P70



続きは
3月号を
読んで下さい！

P37

当選おめでとう！
1月号クイズの当選者は
石川県からは
杉森瑞希さん でした。



我が家4月
思い出・大切にしてること
次号もおたのしみに！

次号予告

[特集]

4月号

4月
新しい出会い
学童保育

学童保育に出合った皆さんへの
メッセージ
谷口由希子・松田洋介
4月、新しい仲間と新たなスタートを
体や行動の面に変化が現われる人が
多いのです。たとえば、発熱、頭痛、

保護者

講座
食を通じて季節を味わう 高橋比呂映
出会い・集い・父母会／わたしは指導員
クイズ／まんが／子どものひがい／読書
のひがい／ほか
吉田純輝
末盛慶
指導員

開設会だよ！

P74

△「子どもの居場所づくり
に関する指針」などと令和
6（2024）年度の予算案が閣
議決定されました。

学童保育に関わっては、
「運営費における常勤職員配
置の改善」の補助基準額の創
設が示されました。

詳細は予算が国会で成立し
た後、実施要綱、交付金要綱
が示されることがあります。

国の情報や全国連協の
活動などの紹介ページです。

△2023年度の全国の学童保育
の実施状況調査の結果がまと
まり、記者発表しました。

全国連協では、毎年5/1現
在の実施状況を調査していま
す。2023年度は、学童保育の
数と「支援の単位」は前年度
比で増加しています。詳しく
は3月号をご覧下さい。

flower
vas

次号もおたのしみに！

3月号の特集は

「学童保育の生活づくり」です。
津幡町の指導員さんに
感想を寄せていただきました。

*学童での放課後は「ただいま」「おかえり」から始まり、毎日の生活を安心安全に過ごす場所として、子ども、指導員、保護者が信頼関係を育んでいくことと改めて確認しました。子ども達の成長として「生活する力」「他者と関わる力」「危険から身を守る力」を育めるようにこれからも関わっていきたいです。

入所したての頃から卒所するまで十分に子どもたちと関わっているのかは、まだ答えは出ませんが、日々生活をしていく場として子ども達と向き合い、課題や方針をたてていきたいと思っているのですが、実際はとても難しいです。しかし、それに向かっていかないといけない仕事です。真摯に向き合いこれからも励んでいきたいと思います。

私のクラブの指導員たちは、日々子ども達の様子を話し合い、関わり、振り返ることを大切にしています。保護者の皆様にも子ども達の成長を実感してもらい、学童に通っていてよかったと思っていただきたいです。そのために、いろんな場面の伝え合いをするためにはどうすればいいのだろうと考えます。それだけ学童での生活が子ども達にとって大切なことと考えています。子ども達にとって学童が居場所になっていたらうれしいなと思います。

あしの子クラブ 川崎

*保護者の共働きにより学童は子ども達にとって第二の家として認識されている学童

クラブ。学童保育は放課後の生活ということで、保護者も安心し子ども達も安心安全でゆったりと楽しく過ごせる場所であり、子ども達の発達段階に応じた主体的なあそびや生活、または学年の異なる異年齢との関わりの中で思いが衝突することもあるが、その時に双方の思いを聞き解決したり折り合いをつけたりする経験が他者と関わる力の育ちになる。

コロナ禍の生活から日常を取り戻しつつある中で、学童でしかできないことやあそびを通して指導員としてまだ未熟な私ですが子ども達に寄り添い保護者も子ども達とも信頼関係を築いていく事が大切だと改めて気づかされ再認識しました。

ゆめの子クラブ 森

*特集を読んで、学童生活の中で子どもたち同士の関わりが子どもたち一人ひとりにとってとても大切だと改めて思いました。仲良しな友達同士だけでなく、おやつの時間や行事など、日々の生活と一緒に送っているからこそさまざまな場面でいつも遊ぶ友達以外の子どもも関わりがあり、一人ひとりにとって大切な経験になっていると感じました。

私のクラブでは、今4年生の女の子たちが「みんなで仲良くしたい！」と自ら提案し、ほしの子祭りを計画しています。自分たちでゲームを決めたり、他の子どもたちにアンケートをとったり日々の子どもたちの関係を考慮して指導員と一緒に班を作ったり…他の子どもたちも準備をしている姿を見て「どんななんするん？！」「いつするん！その日絶対くるから！」とわくわくしているようです。

クラブのみんなのために子どもたちが頑張る姿を見て、どんなお祭りができるのか私もとても楽しみです。私たち指導員も陰ながらサポートできたらなと思います。

ほしの子クラブ 大道



私たちは、子ども・保護者と指導員が共に行う「子ども一人ひとり、子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な營み」を、「生活づくり」と呼んで大切にしてきました。

今回の特集では、コロナ禍での学童保育の生活づくりのなかで感じてきたこと、気づいたこともふまえつつ、これまで私たちが大切にしてきた、子ども・保護者・指導員が共に行う学童保育の「生活づくり」について、あらためてたしかめあいます。

(編集部)

P10

私は、学童保育を義務委託する際の審査に立ちますことがあります。その際、夏休みなどに実施する「特別なプログラム」をアピールする事業者、「熱や習い事で行うような内容を経験できる」ことを特色として打ち出す事業者もあります。しかし、「魅力的なプログラムが提示される一方で、「日々の生活」の大切さが十分に理解されていないのが気になります。学童保育は、保育所やご家庭と同様に、年間約三〇〇日開所していくます。小学生の子どもにとっては、学校教育よりも多くの日数を過ごす場所です。だからこそ、毎日の生活が、安全で安心できるものでなければならぬと考えます。本稿では、毎日の生活の大切さ、それをどのようにつくりだしていくかについて述べます。

毎日の生活の大切さ

大阪大谷大学 長瀬美子